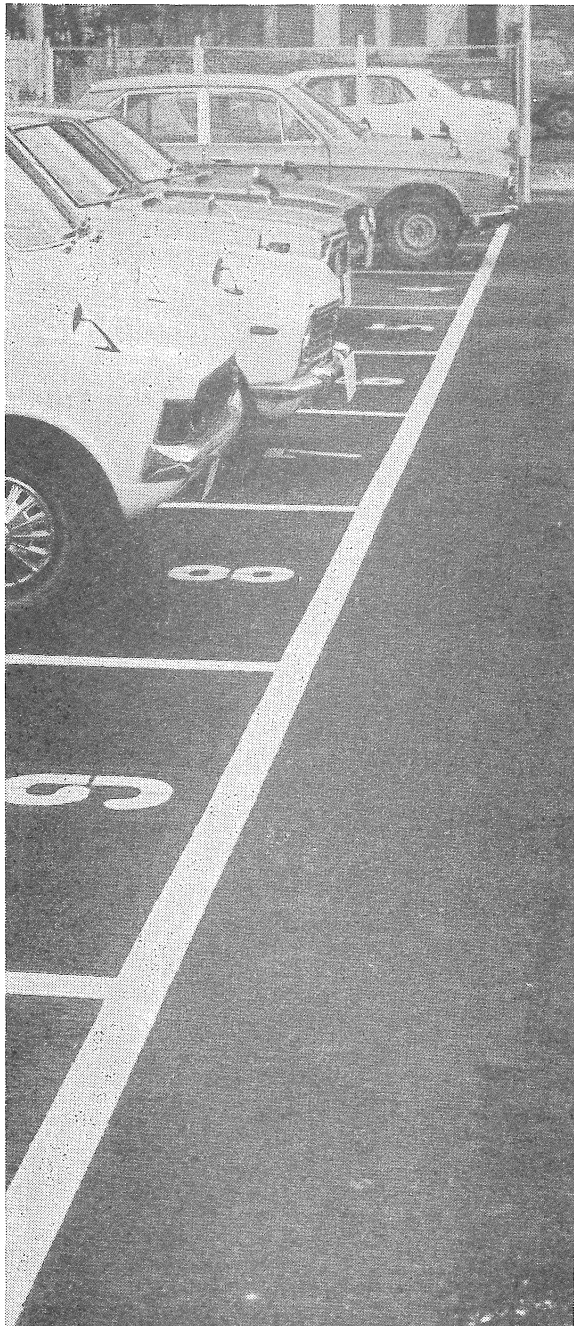
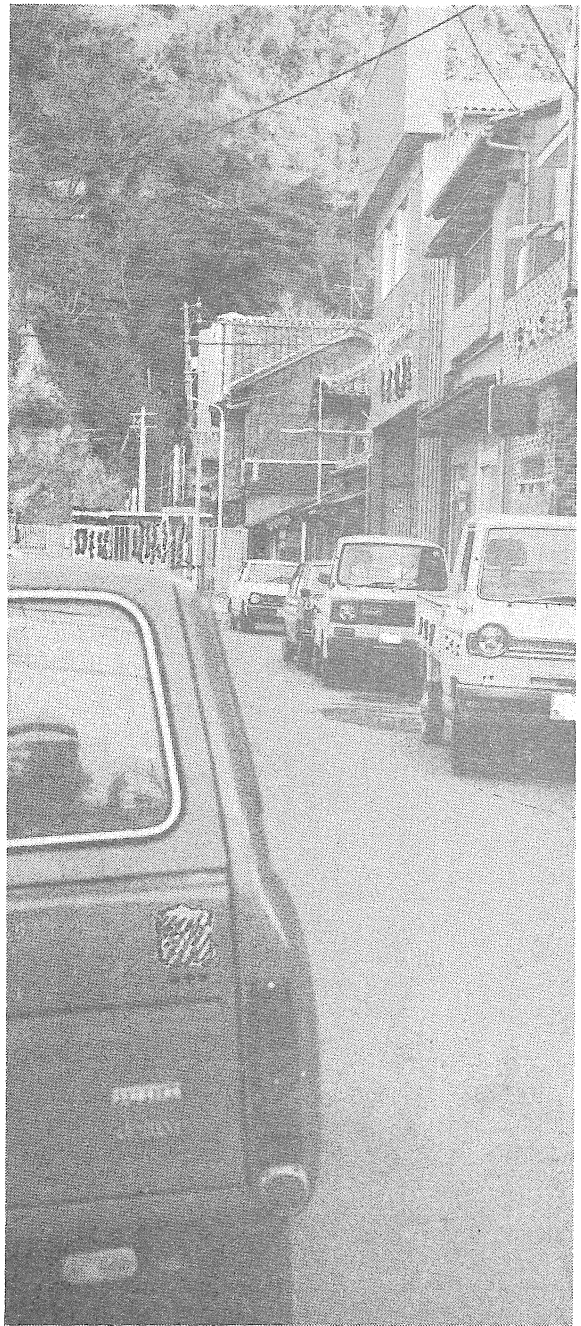


広報 なかがま 2月号



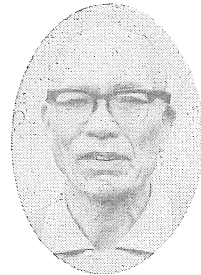
せまい道路は危険がいっぱい。道路はいつも広く安全に……。



2んちち

こんにち、世をあげて「高齢化社会の福祉課題」が声高に叫ばれている。それは「福祉予算」とい

心のしあわせ 忘れずに



宮本幹之進 (72歳) 長浜・無職

いだろう。人の一生は幼児期、青少年期、成人期、老

近頃は、福祉という言葉が幸福という言葉



ありがとうございます、道しるべさん

町内でも豊茂、柴、戒川地区などでは、道

どの道を行けば目的地に通じるのかわからず、足を

□ 一般質問 □

今議会的一般質問では、一宮泰

不況、どう克服

一宮議員：菊地町政が発足して

菊地町長：町長としての政治姿勢

× 早期発見治療で 成人病防ごう ×

脳卒中、がん、心臓病などい

寒い今ごろには脳卒中、心臓病

成人病の予防も、やはり早期発

ること。これについては長浜町振

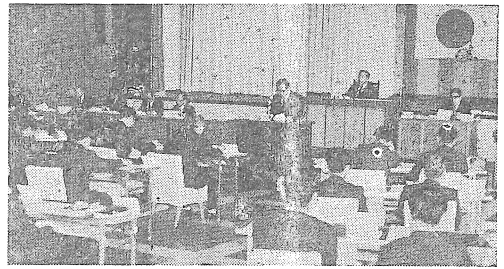
どうなっている補助 金などの地域格差

桜田議員：町内各地域に公共物

菊地町長：公共事業の推進にあ

町議会で可決されたこと・一般質問

議会
会
定例
第4回



道路整備費など
補正

一般会計予算に一億八百五十二万円が補正され、総額は二十億一千九百七十九千円となりました。

今回の補正予算のおもな使用は、人事院報告にもなう町職員などの給与改定分の人件費のほか、建設事業的なものでは、町道・大平線、峯今坊線、今坊・峯今坊線、無事喜地・叶松線、東農道都梅農道の改良。作業林道・日ノ浦・大戸線、峯大越・鼻欠線の開設。柴沖、白滝沖、柴ナカオイ、下平の各用排水路の改良。第一排水区下水道の改良。喜多灘漁港の建設(継続)。楠生地区ポンプ設置所の建設など。

このほか、長浜小学校用地や公営住宅用地の購入費、大洲地区広域消防事務組合負担金、フェリー接岸施設負担金、県道用地 築地) 造成委託料など。

一方、すでに当初予算に計上されていた高峯地区道路新設事業費

長浜町議会第四回定例会は、十二月二十三日から三日間の会期で開かれ、昭和四十九年度決算、今年度一般会計および特別会計(一部)補正予算など、上程された十九の議案が原案通り可決されました。

また、この議会では一般質問が行われ三人の議員が合わせて十二件の質問を行いました。

可決されたこと、一般質問のうちおもなもの内容は次の通り。

出石寺線新設工事
請負契約を締結

昭和五十年年度林構林道出石寺線新設工事を一千三百五十七万円で豊茂の株式会社佐々木組と請負契約を結ぶことが承認されました。

平田三盛、土居孝童
氏を推せん
人権擁護委員

昭和五十年十二月三十一日で人権擁護委員の任期が満了となった村本伊太郎氏と児玉徳五郎氏の後

任に、町長は出海の平田三盛氏(六一)と柴の土居孝童氏(五六)を推せんすることで議会の意見を求めた結果、同意を得、両氏を後任委員に推せんすることに決まりました。

同委員は法務大臣から委嘱され任期は三年。

そのほか

△四十九年度決算を認定：内容は本紙五十年十月号で公表済みのため省略。

▽特別会計にも人件費など補正：国民健康保険会計、国民健康保険直営診療所会計、港湾施設会計、青島船路会計、水道事業会計、工業用水道事業会計にも人件費などを中心とする若干の補正が行われました。

▽公有水面埋立て異議のない旨を答申：四十三年度から施工している国道三七八号線の須沢丙六百二十番地の九の地点の道路改良工事の継続で、同地点の地先海面を埋め立てることについて、県知事から意見を求められたのに対し、町長は異議のない旨を答申することになりました。

▽高額療養費制度は国で：同一診療機関で自己負担に三万円以上の療養費(同一月内)を支払った場合は、その超過分は国民健康保険の財源で支払うという同制度は、国が実施することになったため、町条例のこれに関する条項を削除、昭和五十年十月一日にさかのぼり国にゆだねることになりました。

たつては各地域の受ける体制の相違によって大小の地域差が出ている。しかし地域の実情を考慮して総合的にみて、財政的なないよう最善の努力を注ぎたい。

町職員の教育
充実を

桜田議員：町職員の町民に対する基本姿勢は社会的立場に置かれているだけに、ややもすると住民不在に近いような場合もある。これについて月一回ぐらいの教育研修などを行っているのかどうか。

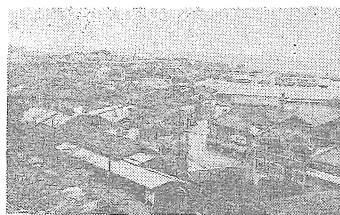
菊地町長：日ごろから課長を含めた職員の間には住民に奉仕するという姿勢を踏まえ、職務上の研修はそのつど県やその他の場で教育を行っている。

役場内では毎週月曜日の課長会、月一回の朝礼、逐次研修の場を設けているがさらに住民の付託に応えることができるような内容を充実させたい。

既路線の補修、改良
が先決では

頼永議員：町内には簡易舗装がはげて地膚が出たり、補修の必要か所がある。道路新設や舗装だけでなく、既設道路の補修、改良を心がけてほしい。また下水管理にどのくらい予算を計上しているか。

菊地町長：五十年年度は道路維持管理費三百二十四万円、下水道維



港埋め立て交通渋滞
解消を

頼永議員：国道三七八号線の築地から旧町内に入る路線は、駅前通りと元青灯からフェリー乗り場へ通ずる二路線が考えられるが、せまい幅員や見通しの悪さから将来は交通渋滞、災害が予想されるまた本町通りとの合流地点でも住宅地を買取しない限り交通渋滞は避けられない。そこで二路線よりは港の一部を埋め立て、これを利用して、これを解消することで交通災害を解消するような将来の交通体系構想があるのか伺いたい。

菊地町長：現在県において国道と築地を結ぶための整備計画を立案しつつあるようで、近く計画案について正式に協議がある予定である。町でも各関係機関、関係者のご意見を伺って将来誤りのないよう路線を決めていきたい。海面の埋め立てについては、既路線しか国道に編入されないことから第二次臨海工業開発計画と合わせ港内の埋め立てを行い住宅区域外通過の構想を立てている。将来の交通公害発生に備えて道路網の整備を行っていく考えである。

▼「あなたの声を町政に」と、昭和四十七年に設置した「声の箱」。今年から毎年本紙この月の号で前年一年間の声の箱投書の概要をふり返り、あなたの声と町政について、いっしょにもう一度考えてみることにしました。そして、お答えした線に沿ってさらに一つ一つ前進させてゆく考えです。



多い建設的「声」に感銘

昨年一年間は十四通三十四件の投書をいただき、楽しく住みよい町づくりのために役立たせていただきました。なお、昨年の投書の中には、まだ本紙で紹介してないものがありますので、遅ればせながらこれを添え、ふり返ってみると次の通り。

▽：インフレと不況に終始した昭和五十年。それだけに例年になく切実で建設的な「声」が多く見られたのが特徴。

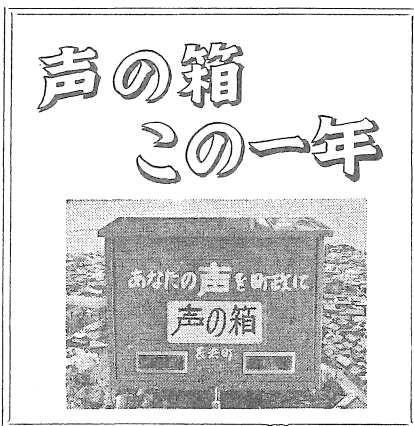
「物が高いこのごろ。ランドセルやめてリュックにしたら」という貧しい男の子さんの声。「週一回、農家直売の野菜市、魚肉の特売日を」と、「月一〜二回、各家庭の不用品の交換会を」という一老人の声。これらは、いずれも現実的世相を感じさせる切実な訴えであると思います。消費生活の改善はこれからの生活課題として行政面でも真剣に取り組んでゆかなければならないものの一つです。

一方、それだけに反面では「夢（希望）」の声も当然何れも「長浜」出石寺間にケールカーを」と、「施設をつくり遊覧観光地に」という裏面から見た？A生さんの声。また、「老人の入浴料を無料に」と、「歳末には老人にモチ代として一千元を」と、

「敬老の日は観劇や慰安旅行、運動会を」という一老人の声は、決して単なる夢ではなく、豊かな町づくり、老人福祉の課題であると思えます。

また、住みよい町づくりを願う「道の緑化を」と「道路を広く」と「各地に道しるべを」として昨年が交通事故が続出三人もの死者を出す最悪の年だっただけに「交通ルールを守れ」と無事故を願うAさんの切なる声は、今後の交通安全活動に生きてくるでしょう。

一方、行政に対する忠告的な意見も多かったことは、欠陥を補う上で、また、さらにに密な行政を推進してゆく上にも大変参考となりました。中でも「乳児保育所なぜひいれぬ」という入所欠格者の声。「顔ぶれ変え新しい意見聞



け」と、行政連絡会のあり方指摘の声。「町職員は勤務中の雑談慎め」、「必要でない放送（有線放送）番組やめよ」などは、町の広報不足、研究不足という点の改善を促しました。

総体的に建設的なご意見を多くお寄せいただいたことを心強く、うれしく思いますとともに、それだけに今後の町行政推進により責任の大きいことを痛感させられる一年々であったと思えます

未紹介投書の紹介

次にご紹介する投書（投書者はいずれも同一の方と思われる）は開函遅れと、内容の多種多様により整理に時間がかかったため紹介が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。なお、投書のうち、電話などによってお問い合わせいただくか、または、ご近所の有識者におたずねいただければご理解いただけると思われる件については紙面の都合上、割愛させていただきます。

声：町内の溝、小流れを埋立て道を広く：住民A

お答え：ご指摘のような方向で改良していますが、まだ昔のままの形で残っている所が相当数あります。フタをかけた二重側溝のようなもので改良してゆきたいと考えています。

声：町内の道路の両側に緑葉樹を植えて町の緑化を：住民A

お答え：現在の道路の規模では交通量などの関係からみて非常にむずかしさはありませんが、これからの町づくりに「緑化」は欠かせないものですから、できる限りの配慮をしてゆきます。

声：舩川の兩岸の竹ヤブを全部伐去し、その跡を道路を兼ねた堤防にしては：住民A

お答え：建設省において、すでに舩川上流地域では実施されており、河川改良と合わせて逐次進められてゆくものと思われまます。

声：いろいろな施設をつくり長浜町を遊覧、観光地にしては：住民A

お答え：年次計画を立て、順次推進していますが、残念ながら町は観光資源に乏しく、拠点としての開発はむずかしいので、広域的に推進してゆく計画です。

声：農家直売野菜市、魚肉の特売日を週一回設けては：一老人

お答え：計画、実施の段階で農協、漁協、商工会間の協議検討が必要であるとともに、主催者となるべき団体、場所、価格などの問題がありますので、これらの協議検討を進めます。結論が出しだい本紙面でご紹介します。

声：各家庭の不用品の交換会を月一〜二回開催しては：一老人

お答え：ご指摘の通りです。な

声：町内の溝、小流れを埋立て道を広く：住民A

お答え：ご指摘の通りです。な

声：町内の道路の両側に緑葉樹を植えて町の緑化を：住民A

お答え：現在の道路の規模では交通量などの関係からみて非常にむずかしさはありませんが、これからの町づくりに「緑化」は欠かせないものですから、できる限りの配慮をしてゆきます。

声：舩川の兩岸の竹ヤブを全部伐去し、その跡を道路を兼ねた堤防にしては：住民A

お答え：建設省において、すでに舩川上流地域では実施されており、河川改良と合わせて逐次進められてゆくものと思われまます。

声：いろいろな施設をつくり長浜町を遊覧、観光地にしては：住民A

お答え：年次計画を立て、順次推進していますが、残念ながら町は観光資源に乏しく、拠点としての開発はむずかしいので、広域的に推進してゆく計画です。

声：農家直売野菜市、魚肉の特売日を週一回設けては：一老人

お答え：計画、実施の段階で農協、漁協、商工会間の協議検討が必要であるとともに、主催者となるべき団体、場所、価格などの問題がありますので、これらの協議検討を進めます。結論が出しだい本紙面でご紹介します。

声：各家庭の不用品の交換会を月一〜二回開催しては：一老人

お答え：ご指摘の通りです。な

声：町内の溝、小流れを埋立て道を広く：住民A

お答え：ご指摘の通りです。な

声：町内の道路の両側に緑葉樹を植えて町の緑化を：住民A

お答え：現在の道路の規模では交通量などの関係からみて非常にむずかしさはありませんが、これからの町づくりに「緑化」は欠かせないものですから、できる限りの配慮をしてゆきます。

声：舩川の兩岸の竹ヤブを全部伐去し、その跡を道路を兼ねた堤防にしては：住民A

お答え：建設省において、すでに舩川上流地域では実施されており、河川改良と合わせて逐次進められてゆくものと思われまます。

声：いろいろな施設をつくり長浜町を遊覧、観光地にしては：住民A

お答え：年次計画を立て、順次推進していますが、残念ながら町は観光資源に乏しく、拠点としての開発はむずかしいので、広域的に推進してゆく計画です。

声：農家直売野菜市、魚肉の特売日を週一回設けては：一老人

お答え：計画、実施の段階で農協、漁協、商工会間の協議検討が必要であるとともに、主催者となるべき団体、場所、価格などの問題がありますので、これらの協議検討を進めます。結論が出しだい本紙面でご紹介します。

声：各家庭の不用品の交換会を月一〜二回開催しては：一老人

お答え：ご指摘の通りです。な

声：町内の溝、小流れを埋立て道を広く：住民A

お答え：ご指摘の通りです。な

声：町内の道路の両側に緑葉樹を植えて町の緑化を：住民A

お答え：現在の道路の規模では交通量などの関係からみて非常にむずかしさはありませんが、これからの町づくりに「緑化」は欠かせないものですから、できる限りの配慮をしてゆきます。

声：舩川の兩岸の竹ヤブを全部伐去し、その跡を道路を兼ねた堤防にしては：住民A



美女歌手のすばらしい歌声に満足、楽しいひとときをすごす28区の皆さん

ずか一区三十九世帯の懇親会に出演したそのプロ歌手とは、いったい誰？ノ驚くなかれ「女のみち」「夫婦鏡」などでヒットした、ごんじピンカラトリオの宮史郎ほか美人歌手の市川美和、古城しのぶ、藤昌代一行だから、このことを後で知った二十八区以外の人は、うらやましいやら、ねたましいやら「ちょっと教えてくれれば…」の声しきり。

歌手、そのうまさに、そして、ひのき舞台の歌手が今自分たちの区に催しに出演してくれた感激で場内は興奮ひとしお。あでやかなきもの姿の三人の美女歌手もサーピスタっぷり。合間合間に「福樽」と書いた募金タルをもって各席へ巡回、一円でも多くと予想外のお酌のサーピスもあって殿方のサイフの口は心よくパクパク開いてこれまた予想外の収益。「イヤー、きれいかつたゾー!!」と、どなたも一様にわれを忘れてその美人ぶりを熱弁力説する男性氏。本命であるピンカラトリオの宮史郎は陰を潜めんばかり。

が勘弁してほしい」ということですなわち顔、歌ともにソックリの代役さん「幻のピンカラ。宮史郎」の出演となったということ。しかし、それを承知していた増田さんでさえ、初対面のとき「アレ？ノやっばり本物がきてくれたノ」と思ったというからイヤーハヤ……。

お、違反者追放は人任せではなく住民一人ひとりの協力が必要です。違反者(車)を見たら一〇番への通報をお忘れなく。通報することから①④だれが(車のナンバー)②いつ③どこで④どのような⑤通報者の住所。氏名



ホホ！！

税金を全額納めると、その区に対し町から「報償金」が支払われることになっていま

報償金でチャリティー懇親会 ピンカラらプロ歌手招いて

この報償金、ほとんどの区は区民の懇親行事に使われているようですが、二十八区(三十九世帯・西村護区長)では、この報償金をためた区費でプロ歌手を招き「二十八区新町歳末募金チャリティー懇親会」をさる十二月七日に町体育館大ホールで開催、家族連れで参加した同区住民約百二十人は、プロ歌手の歌うすばらしいふんい気の中で楽しいひとときを過ごすとともに、結めて二万三千七百七十円の募金に成功、ちよっぴののやましい話題になりました。このわ

十万円というのだから頭をひねりたくなる。プロ歌手の出演料だけでも二十万円ほっちではどうにもならないのが常識。さて、その種明かしを伺えば、同区の増田健三さんがピンカラトリオの所属する劇団のマネージャーと知合いであることからその利を生かして慈善事業として出演してもらえよう交渉。その結果、出演時間は一時間、歌手四人と司会の計五人の出演料(交通費も含む)は、なんとわずかの六万円代話がついたというから交通費だけのようなもの。イヤー、人間関係ってホントに大切。

そのピンカラさんは？ とたずねると、「ピンカラもよかった、うまかった」というが、美女歌手の批評ほどなげか口調に力がこもらない。ふしぎに思いさらに感想を求めると、どうやらソックリ似顔の代役さん。それにしても、最後に司会が白状するまで、世話役の一部の人以外誰一人本物として疑わせなかったとはさすがクロウト。増田さんの話では、急に避けられない中央での仕事(出演)ができダメになったと電話が入ったので「こちらも期待していたので何とか」というと「それじゃあ金がメツキになるかも知れない

そのピンカラさんは？ とたずねると、「ピンカラもよかった、うまかった」というが、美女歌手の批評ほどなげか口調に力がこもらない。ふしぎに思いさらに感想を求めると、どうやらソックリ似顔の代役さん。それにしても、最後に司会が白状するまで、世話役の一部の人以外誰一人本物として疑わせなかったとはさすがクロウト。増田さんの話では、急に避けられない中央での仕事(出演)ができダメになったと電話が入ったので「こちらも期待していたので何とか」というと「それじゃあ金がメツキになるかも知れない

申告は3月15日までに

所得税、事業税、住民税、贈与税の申告は、3月15日までです。申告はできるだけ早目に済ませましょう。くわしくは、税務署か町役場税務課へ。

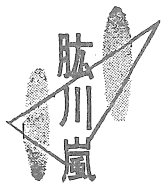
今坊地区民生委員に

桐田信枝さん

お答え：長浜町の農業委員は十七人で、このうち十人は選挙で選ばれ、他の七人はいわゆる学識経験者で農協役員一人、農業共済組合役員一人、町議会からの推せん五人となっており、全員有資格者です。

今坊地区担当の民生児童委員であった今坊の西岡淳夫さんは、このほど一身上の都合により同職を退任、後任委員に昭和五十年十二月一日付で同地区の桐田信枝さん(六〇)が決まりました。任期は残任期間の五十二年十二月一日まで。

お、違反者追放は人任せではなく住民一人ひとりの協力が必要です。違反者(車)を見たら一〇番への通報をお忘れなく。通報することから①④だれが(車のナンバー)②いつ③どこで④どのような⑤通報者の住所。氏名



月日は百代の過客にして...とは芭蕉の「奥の細道」の冒頭の一句だが古來時間というものは一瞬一秒の狂いもなく万人万物に平等に通過ぎて行くお客様なのである。お正月が来たと思ったら一月はいぬる、二月は逃げる、三月は去るとやがて四月の花の春。これが真実の相(すがた)とすればひと時も止まっているものはないから世の中は無常だとお釈迦様が説き、日本民族はひどくこれに共感して無常感が日本人の思想の一つの特質になっているように思われる▲両方良いのは頬かぶりというくらいで物事にはすべて一長一短あって両方共よいことというものはあり得ない。無常感も昔もある種の人々にはそうであったろうが現代人の刹那主義、享樂主義の人々の行動はどこかで考え方が狂ってあるので賛成し兼ねるが、過ぎ去り消え去った時間は既に無く、未来は未だ来ていないが故に無く、只この一瞬の現在のみが唯一至上の存在で、このただ今を自分の全身、全霊を打ち込んでやらねばならぬことをやっているかという禅宗の坊さんの説教そのままの行動で百年足らずの一生をつき徹(とお)すという良い方の一面へ無常観が定着しないと何にもならないことなる▲最後に無常と、むごいことをする無情とは全く別物であることをつけ加えておく。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう。

	1月1日現在	前月との比較
人口	13,766人 (男 6,538人 女 7,228人)	10人増 (13人増 3人減)
世帯数	3,925世帯	1世帯減



また義援品としては「老人ホーム白山園に」と長浜十二区の岸本準一郎さんからぜんざい用もち砂糖、あずき、豊茂の楠野マサコさんからもち米、長浜中学校からクリスマスツリー、長浜小学校から石けん、タオル、白滝出身で大阪市在住の楠野高代さんからお菓子が寄せられました。

なお募金の配分は次のように行われ、関係者から大変喜ばれました。配分内訳は老人ホーム白山園入所者六十三人に三万一千五百円。国立愛媛療養所、大洲市特別養護老人ホーム、大洲市民病院、盲老人ホーム権現荘、県立松前清流園、保内特老青石寮、松山特老角野荘、同済生会、同ガラリーヤ荘、河内病院、双岩病院、山内病院などの入所者三十五人に七万円。生活困窮家庭五十六世帯に二十万一千五百円。寝たきり老人三十三人に五万七千四百三十円。独居老人十二人に二万七千六百円。母子家庭十一世帯に三万六千五百円。心身障害者十三人に二万九千九百五円。長期在宅療養者六人に一万八千円。災害遺児十五人に二万九千五百円。このほか町から長期療養者三十五人にお見舞として七万円を渡しました。

結婚

12月長浜町役場届出分(敬称略)

今月のトップは石河常夫・加代さんのカップル

住 所	氏名	婚姻届時年齢
豊島	石河 常夫	(二六)
白静	尾上 加代	(二六)
今豊	上野 博雄	(三八)
豊今	久恵 雅	(三八)
大洲市	中野 崇美	(二二)
	山内ミサエ	(二二)

おみやみ

12月届出分(敬称略)

住 所	氏名	死亡時年齢
長浜	真鍋 ヒテ	(七七)
長浜	井上 朝汐	(七六)
長浜	大野 ハル	(八一)
今豊	大野 アヤコ	(七三)
下須戒	大石 サトリ	(八〇)
下須戒	大石 マツヨ	(八一)
柴 泉	矢間 マツヨ	(八三)
柴 泉	鵜子	(六二)

歳末募金 50万1千円集まる!!
共同募金は76万円

●：昭和五十年長浜町歳末たすけあい募金の集計がこのほど長浜町共同募金会の手で行われました。その結果は一般のみなさんからの募金が三十八万四百万円、町からの補助金二百万円、社会福祉協議会から十萬一千五百円、五十萬一千九百四十円(四十九年は三十四万七千円)と、このほか義援品が五万ありました。

このほか町から長期療養者三十五人にお見舞として七万円を渡しました。今年十月から十二月にかけて募った共同募金の集計も、このほど長浜町共同募金会の手で行われました。その結果は、鹿島建設、昭和サボア社、長浜化成従業員のみなさんの職場募金という特別の協力もあって七十六万四千三百九十円の募金があり、さっそく愛媛県共同

募金会に送付しました。この募金は後日、県の配分会で配分され、当町へも配分されることになっており、社会福祉事業や活動に利用されることになっていきます。

寄付

○大和小学校創立百周年記念事業実行委員会：18型カラーテレビ六台、複写機一式、石油ストーブ三台、8ミリ映写機一台、コンパクトリー(掃除用具整理ロッカー)十一個、優勝旗一面、テーブルクロス一枚を大和小学校へ

お誕生おめでとう!!

12月届出分(敬称略)

住 所	保護者氏名	続柄	児名
仁久	知念 則和	二男	利光
長浜	東 洋勝	二女	未知子
長浜	矢野 二三	長女	早智子
沖浦	岡本 武治	二男	雅典
生田	下坂 忠義	長女	郷子
出海	石田 利夫	長男	利久
出海	金岡 政高	長女	美恵
下須戒	菊上 和夫	長男	洋一
豊茂	橋本 良武	長男	泰宏
豊茂	橋本 博	二男	義明
柴 川	竹内 信義	二男	義明
柴 川	中嶋 良男	長男	博文

編集後記

たしか四十九年一月号を配付した直後のこと。町を歩いているとある八十歳を越した男性のお年寄りに「広報ながはまはまはページが半分になったがどうしたんぞ」といきなり声をかけられた。私はとっさには「あれ? 別にこれまでと同じで半ページにまでしてないが?」と思いついて返答すると、「こんど配った一月号は半分じゃったゾ」と。「なるほど、あのことか?」と思いついて、編集期間やネタ不足の理由でそうしたことを説明すると、そのお年寄りは「ああ、そうかそうか、それならいいのヨ」と、安心したようかへ答えた。「このお年寄りは、本紙の発行を待っててくれたらいい...」そう確かに思わせていただいたあのお年寄りの表情を思い出した。編集作業に力がこもる。ちなみに本号は六ページ。